

# はなおか栄太郎

## 市政報告 Vol.10



### 中区集中備蓄倉庫が完成しました！

場所：岡山市中区中島 256-6



構造：鉄骨造  
床面積：406.7㎡  
ラック数：固定ラック 4段×2列×14棚  
移動ラック 4段×6列×14棚

災害時に必要となる物資を備蓄する「**中区集中備蓄倉庫**」が、令和8年7月30日に完成しました。

水だけの場合、500mlのペットボトルを約43万本、23,890人の3日分に相当する量を収容することができます。今後、必要な備蓄物資を順次搬入する予定です。

アルファ化米や飲料水、簡易トイレなど、市内の避難所で必要となる備蓄物資を保管し、災害時には物資が不足する避難所へ迅速かつ効率的に届けられる体制を整えます。



### 令和8年6月定例議会 一般質問(抜粋)

- 質問項目 1 中区における内水氾濫対策について 3 衛星インターネットサービス「Starlink」について  
2 民生委員・児童委員について

#### 中区における内水氾濫対策について

**Q** 旭東排水機場やその周辺の遊水地や水路において、内水氾濫に対してどのような対策を講じているのか。

**A** 【産業政策担当局長】

当該地区の内水氾濫対策については、旭東排水機場を稼働することにより、常時遊水池の水位を低く設定し、排水能力を超える出水があった場合でも、遊水池に貯留することで浸水被害の軽減に努めております。加えて、大雨が予想される場合、上流の取水樋門を調整することで、用水路の水位低下を図っております。また、排水機場の機能を確実に発揮できるよう、年2回の定期点検を実施している。



旭東排水機場

**Q** 初期対応が遅れた場合には内水氾濫が拡大するおそれがあります。令和5年9月定例議会でも質問した際には、旭東排水機場が万が一停電した場合には、電力会社に発電車を要請するなどの対応を取るとの答弁でしたが、発電車の到着までには一定の時間を要することも想定されます。豪雨災害時の初動対応の確実性をさらに高めるため、旭東排水機場に予備電源を整備すべきだと考えるが。

**A** 【産業政策担当局長】

電源は複数の変電所から輪のようにつなぐ「ループ系統」が組まれており、排水機能に対する一定の信頼性は確保されているものと考えております。一方で、近年の豪雨の激甚化・頻発化を踏まえ、道路冠水等により発電車の到着が遅延するなどのリスクがあることから、初動対応の確実性を高めていくことが必要であると認識しております。排水機能の確実な稼働について検討する中で、議員ご指摘の常設の予備電源の整備を含め、排水機場の管理・運営について、他都市の導入事例や技術的課題、費用対効果等を踏まえ、調査・検討していく。



## 民生委員・児童委員について

**Q** 民生委員・児童委員の活動負担の軽減や活動に対する支援について、どのように取り組んでいるのか。

**A** 【保健福祉局長】

民生委員・児童委員の活動負担の軽減については、昨年度、証明事務の一部を見直したところです。また、活動支援については、個々の民生委員・児童委員や地区民生委員・児童委員協議会の活動費へ補助を行うほか、各種研修会の開催など、民生委員活動を支える幅広い支援に取り組んでいる。

## 令和8年9月定例議会 一般質問(抜粋)

■質問項目 1 用水路の水草対策について 3 災害時緊急ボックスについて  
2 窓口用字幕表示パネルについて

### 用水路の水草対策について

**Q** 現状では人力による除去作業に大きく依存している実態がありますが、今後、機械化による効率的な除去や、繁茂しにくい環境づくりなどの発生抑制に向けた対策など、より効果的かつ持続可能な対策について検討を進めるべきと考えるが。

**A** 【産業政策担当局長】

現在、地域の方々のご協力を得て、水草の除去作業を行っておりますが、高齢化や人口減少のため負担が大きくなっている状況も踏まえ、省力化のために行っている除塵機の設置などに加え、負担軽減につながる除去方法や発生抑制方法等について、他都市の事例などを調査研究していく。

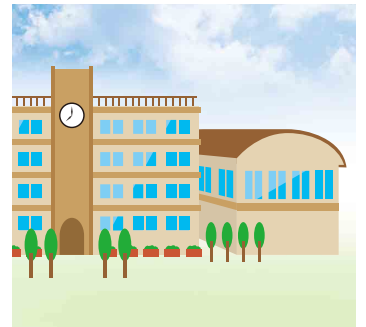


### 災害時緊急ボックスについて

**Q** 災害時緊急ボックスの設置状況と、未設置の避難所がある場合その理由と今後の整備方針について。

**A** 【理事】

災害発生時に指定避難所となり、収容人数が多い市立小・中学校126か所に、まずは設置をしている。その他の市の職員が開設を行う避難所については、今後、各施設管理者と協議を行い、災害時緊急ボックスの設置や運用に関する課題の整理ができたところから順次設置を考えていく。

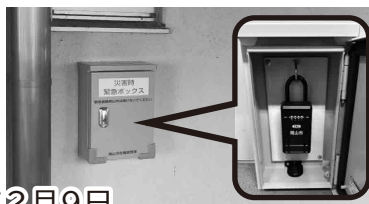


## 災害時緊急ボックスを整備しました

**「災害時緊急ボックス」とは、避難所となる学校体育館の鍵などを格納するボックスです。**

休日・夜間に、地震や津波などの突発的な災害が発生した場合には、ボックスから鍵を取り出し、地域住民の方により、体育館を開場することができます。

※体育館が床上浸水想定のある学校は、垂直避難用に、校舎棟の鍵も格納します。



ボックス内には、ダイヤル式の鍵箱が格納されています。

※学校の地図や建物安全チェックシートも格納されていますのでご活用ください。

■運用開始時期／令和8年2月9日

■整備場所／避難所となる市立小中学校

■設置位置／体育館の入口付近

災害時緊急ボックスについて詳細はこちら➡



### 平井地区

安全対策として  
カーブミラーを追加



安全対策として  
路面表示を追加

